

## 日本海大和堆周辺水域等における外国等漁船への対応状況について (令和3年漁期)

### 【漁業取締船の重点配備】

○ 日本海の大和堆周辺水域は、我が国水域内にあり、イカ釣り漁業、カニかご漁業、底びき網漁業の好漁場です。近年、この漁場を狙って、違法操業を目的に我が国水域に進入する外国等漁船が後を絶たず、我が国漁船の安全操業の妨げにもなっていることから、大きな問題となっています。

○ 水産庁は、これら外国等漁船を放水等の厳しい措置で我が国水域から退去させており、昨年退去警告を行った外国等漁船の延べ隻数は4,000隻を超えています。

○ 本年についても、水産庁は周年にわたり配備している漁業取締船に加え、我が国イカ釣り漁業の漁期が始まる前の5月からはさらに漁業取締船を重点的に配備し、取締りを行っています。

大和堆



### 【大和堆とは】

日本海中央部にある楕円形をした堆(海山)で、最も浅い水域は水深250メートル前後。日本海における好漁場。



日本のカニかご漁船の安全操業を  
確保する水産庁漁業取締船



日本海の中国漁船群

水産庁による外国等漁船への退去警告延べ隻数(うち放水措置)  
320隻(91隻)※令和3年5月27日現在

### 【水産庁と海上保安庁との合同訓練】

○ 5月26日に大和堆周辺水域において、水産庁漁業取締船と海上保安庁巡視船が合同で放水訓練等を行いました。



○ 水産庁は、我が国漁業者の安全を確保しつつ、操業を行い得るよう、引き続き海上保安庁との連携を強化しつつ、万全の対応をとっていきます。

◎水産庁の漁業取締りに関する動画はこちら

【海上保安庁・水産庁合同訓練】 <https://www.jfa.maff.go.jp/j/koho/douga/210607.html>